

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 18 日

所属	0155100000	会計課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	06	会計管理費	事業 1	007	0 1 0 2 0 1 0 6
事業 2	010	審査出納事務費	事業 3	001	審査出納事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 会計課所管事務執行のため
- ・内容 会計事務の適正な執行、及び安全かつ有効な方法による現金の出納保管を実施する。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 会計課所管事務を円滑に適正に執行する
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市財務規則
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 19,036千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 42,070千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 50,792千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 電子決裁による適切な審査支払事務を行う。
- ・令和7年度 金融機関からの要望や会計課業務のデジタル化について対応協議を行う。

4 事業の自己評価(目標値に対する効果の検証・課題・問題点等)[C]

会計事務の適正な執行及び電子決裁による審査支払事務の適正な運用を行うことができた。

5 令和8年度の主な取組(課題解決への取組等)[A]

引き続き、会計事務の適正な執行、及び電子決裁による審査支払事務の適正な運用を行うとともに、セルフ収納機の設置などを実施することで、市民サービスの継続を図る。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

セルフ収納機の設置など、市民の利便性向上と事務効率化にかかる費用を新規計上したため、

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0155100000	会計課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	06	会計管理費	事業 1	007	0 1 0 2 0 1 0 6
事業 2	010	審査出納事務費	事業 3	001	審査出納事務費

増額となった。

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
セルフ収納機の設置費用など 12,626千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

引き続き、電子決裁による会計審査事務の適正な事務執行を行うとともに、
社会経済情勢の変化に応じて、会計課業務のデジタル化について対応を行う。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・ 予算計上額（うち一般財源） 12,626千円（7,093千円）
・ 内 容 公金収納のセルフ収納機導入による利便性向上と業務効率化
- (2) 自然災害対策への取組 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減） 該当なし